

市民・文化観光・消防委員会行政視察概要

1 視察月日 令和4年10月31日（月）～11月2日（水）

2 視察先及び視察事項

（1）香川県

ア 瀬戸内国際芸術祭2022の取組について

イ 大島における瀬戸内国際芸術祭2022の展開について

ウ 直島における瀬戸内国際芸術祭2022の展開について

（2）福岡県福岡市

ア 消防本部直轄「機動救急隊」の始動について

イ 福岡都市圏における「NET119緊急通報システム」について

ウ 福岡都市圏消防共同指令センターの運用について

（3）福岡県北九州市

ミクニワールドスタジアム北九州について

3 視察委員

委員長 中島光徳

副委員長 山本たかし

同 望月高徳

委員 青木亮祐

同 瀬之間康浩

同 長谷川琢磨

同 田中ゆき

同 加藤広人

同 河治民夫

視察概要

1 視察先
香川県

2 視察月日
10月31日（月）

3 対応者

瀬戸内国際芸術祭推進課長（挨拶・説明）

瀬戸内国際芸術祭推進課課長補佐（案内）

瀬戸内国際芸術祭推進課主任主事（案内）

瀬戸内国際芸術祭サポーターこえび隊（案内・説明）

4 視察内容

（1）瀬戸内国際芸術祭2022の取組について

ア 公益財団法人福武財団と直島町の関係と文化的エリアの建設

瀬戸内の島に世界中の子どもたちが集える場を作りたい公益財団法人福武財団が運営する福武書店と島の南側に文化的なエリアを作りたい直島町の思惑が一致して、1988年に直島文化村構想が誕生した。

その後、1989年には安藤忠雄監修の下、直島国際キャンプ場、1992年には、ホテルと美術館の集合施設「ベネッセハウス」、1998年には、集落内で空き家をアートに改修・公開する「家プロジェクト」、2004年には「地中美術館」が建設されるなど、次々に芸術的な施設が建設されることとなった。

イ 香川県と瀬戸内国際芸術祭2022の関係

1950年から金子正則知事が建築を重視した施策を打ち出したことに端を発する香川県庁舎の建設に当たり、高校の同窓であった、猪熊弦一郎から紹介された若手建築家の丹下健三を起用し、行政に文化的色合いを濃く落とし込む事業を次々に行った。

2003年には福武財団理事長福武總一郎氏が大地の芸術祭を視察した。2006年には、アートによるまちづくりで活躍していた北川フラム氏と福武總一郎氏が瀬戸内国際芸術祭を構想し、2007年には当時の真鍋武紀知事と会談し、2008年には瀬戸内国際芸術祭実行委員会が設立されるに至った。2009年には、ボランティアサポ

ーターのこえび隊が発足し、2010年7月には第1回瀬戸内国際芸術祭が開幕するに至った。

ウ 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長に香川県知事、副会長に香川県商工会議所連合会会長、高松市長、構成団体に、香川県、会場となる市町村、国の機関、経済団体、農業・漁業団体、県内大学、文化団体、観光組織、鉄道会社、船舶組織、交通系団体、高齢者・婦人・青年団体、銀行など様々な団体によって構成されている。福武財団理事長の福武総一郎氏は総合プロデューサー、北川フラム氏は総合ディレクターとなっている。

エ 芸術祭の特徴

作品が地域を表しているのが一つの特徴である。特定の場所に存在するために制作された作品としてサイトスペシフィックという技法が取られ、地域特有の歴史、文化、産業、生活等をテーマに地域を表している。

また、地域・ボランティアが積極的に関わっているのも重要な特徴である。作品制作や受付、イベント運営等に地元住民の協力を得ていることや、国内外からのボランティアが手伝いに来ている。芸術祭2019では、ボランティアであるこえび隊は延べ7,165人にもものぼった。

企業等とのコラボレーションも積極的に行われ、資金協賛、物品協賛等様々な角度から協賛が行われている。協賛実績は2019年度は282社となっている。地域企業等の支援も活発であり、社員をボランティアに派遣したり、店舗等でバッジ着用を通してPRすることや、社員研修や親睦旅行に芸術祭を活用、社員の福利厚生事業として芸術祭のパスポートを購入する動きも見られる。

オ 瀬戸内国際芸術祭の効果

瀬戸内国際芸術祭の魅力発信を通して、瀬戸内に魅力を感じ、移住定住の促進も図られている。過疎の島に過ぎなかった直島町も、平成28年度には人口が74人、平成30年度には92人と毎年少しずつではあるが、増えてきている。

男木島では、2011年に初めて芸術祭作品での挙式が行われ、2014年には小中学校、2016年には保育所が再開されるなど島の活性化も進んできている。

カ 今後の課題

芸術祭を継続していくうえでの課題も見えてきている。第一に、人材の確保・地元組織の充実化を図る必要がある。本土側、県内・国内外から関われる人材の育成・発掘を進める必要がある。

第二に、事業費の抑制や資金調達も重要な課題である。資金調達の一層な多様化を図るとともに、利益の確保や事業規模の抑制などが必要となる。特に作品の維持管理経費は重大である。

最後に、芸術祭効果の通年化も考えなくてはならない問題である。会期中と会期外で交流人口に大きな乖離があり、会期外の交流人口を増やすことで経済効果の拡充を狙う必要がある。

(2) 大島における瀬戸内国際芸術祭の展開について

大島はハンセン病回復者の国立療養施設があり、ボランティアのこえび隊が中心となり案内を進めている。

大島にある作品には、アートを通して忘れてはならない差別や偏見の歴史を知ってもらいたいという思いがある。

国の隔離政策が産んだハンセン病への誤った差別や偏見の歴史を入所者たちが一つ一つ思いを込めて制作した。

例えば、田島征三氏の「Nさんの人生・大島七十年」という作品では、交流のある存命のNさんから隔離された島での生活を聞き、それを立体作品として作り上げたものである。それぞれの部屋ごとに分けて表現しており、昔は多い時には700人もの入所者が暮らしていた時代があり、軽症者が重症者を看病したりしてお互い助け合いながら生活をしていたことが分かる。トイレも足りず木製の便器を当時作らされたNさんの一生を通して、過去の話ではなく、今いる人の話だと知ってもらいたいという意図が強く込められている。

こうした作品群を通して、二度と差別や偏見を生まないような理解を深めることが出来ると考える。

(3) 質疑概要

Q どういう人たちが来場しているか。

A アート好きな人や、瀬戸内の環境と景観が好きな人が多い。

Q 3年に1回開催しているが、毎回新しい作品を募集・展示しているのか。

A 恒久的な作品もあれば、素材的に紙や布など劣化してしまうものなどは保存するかどうか検討しながら入替えをしている。

Q 過去の作品はアーカイブという形で見られるのか。デジタルで

は残していないのか。

A デジタルという形では完全には残せていないが、紙媒体としては一部残している。

Q リピーターの人たちの地域事情を教えてください。例えば小豆島や近場の島の人なのか、それとも関東など遠いところからきている人が多いのか。また、世代的にはどういう年代の人たちが多いのか教えてください。

A 半分半分くらいだと思う。瀬戸内国際芸術祭の開催も10年を超えてきており、20代・30代の若い世代だけでなく、40代・50代以上のミドル世代もレポートしてくれるようになってきている。



(会議室にて説明聴取及び質疑)



(大島港前広場にて)

視察概要

1 視察先
香川県

2 視察月日
11月1日（火）

3 対応者
瀬戸内国際芸術祭推進課課長補佐 (挨拶・説明)
瀬戸内国際芸術祭推進課主任主事 (説明)
株式会社ベネッセホールディングス直島統括部長 (挨拶)
ベネッセハウスゲストリレーションズ部長 (挨拶)

4 視察内容

(1) 直島における瀬戸内国際芸術祭の展開について

ア 地中美術館

地中美術館は「自然と人間を考える場所」として、2004年に設立された。瀬戸内の美しい景観を損なわないよう建物の大半が地下に埋設され、館内には、クロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品が安藤忠雄氏設計の建物に恒久設置されている。地下でありながら自然光が降り注ぎ、一日を通して、また四季を通して作品や空間の表情が刻々と変わる。アーテリストと建築家とが互いに構想をぶつけ合いながらつくり上げたこの美術館は、建物全体が巨大なサイトスペシフィック・ワークといえる。迷路のような建築構造も特徴的だと言える。

イ ベネッセハウスミュージアム

「自然・建築・アートの共生」をコンセプトに、美術館とホテルが一体となった施設として1992年に開館した。

「ミュージアム」、「オーバル」、「パーク」、「ビーチ」の宿泊棟4棟と、一般の方もご利用いただけるレストランやカフェ、スパ、ショップを併設している。

建築はすべて安藤忠雄氏の設計によるもので、経年とともに瀬戸内海国立公園の環境に溶け込むような構成となっている。

長いスロープや階段、通路による移動、切り取られた開口部から注ぎ込む外光など、施設内外の現代アートを身体全体で感じら

れる工夫がなされている。

ウ 安藤忠雄「ANDO MUSEUM」

古民家の内部に入れ子状に組み込まれたコンクリートボックスは、緩やかな曲面天井を持ち、母屋の木造屋根部分に設けられたトップライトからの光が館内を照らす特徴的な建築物である。

過去と現在、木とコンクリート、光と闇といった対立する要素が刺激的にぶつかり合いつつ重層している、狭いながらも奥行きに富んだ空間となっている。

エ ジェームズ・タレル「南寺」

真っ暗な部屋の中を手探りで進み、ベンチに座ってしばらく眺めていると、ぼんやりとした光が見えてくるのが特徴的な建築物である。部屋の明るさは少しも変わっていないが、いつの間にか見えるようになる不思議な体験ができる。

明るいところから暗闇に移動してしばらくすると目が慣れてきて、暗い場所でも見えてくる暗順応を利用したアートとして定評がある。

(2) 質疑概要

Q 「ANDO MUSEUM」の家は、今回のアートのために一から作ったものなのか。

A 元々あった古民家を利用して芸術作品として作り替えた。

Q 直島には案内をするスタッフが多数いるが、直島に住んでいる方なのか。

A 住んでいる方もいる。瀬戸内国際芸術祭を通じて、直島に魅力を感じて直島に移住した方もいる。また、高校卒業後、地元に残ってもらうことを前提に直島の案内役としてスタッフ採用を行ったりもしている。

Q どのようにして直島にこういった芸術文化の空間を作ることが出来たのか。

A 福武書店の創業社長福武哲彦氏の、瀬戸内海の島に世界中の子供が集まる場を作りたいとの思いと、直島の南側一体を清潔で教育的な文化エリアとして開発したいという夢を持っていた三宅親連直島町長の考えが一致したため、直島の芸術文化開発が進められることになった。



(ベネッセミュージアム前にて説明聴取及び聴取)



(直島会場「赤かぼちゃ」前にて)

視察概要

1 視察先

福岡県福岡市

2 視察月日

11月2日（水）

3 対応者

消防局長（挨拶）

消防局警防部長（挨拶）

消防局総務部総務課長（案内）

消防局警防部救急課長（説明）

消防局総務部総務課総務係係員（司会）

4 視察内容

（1）消防局機動救急隊について

ア 機動救急隊の創設の経緯

近年増加している、救急需要に対応するために、令和4年4月、消防本部直轄の「機動救急隊」を創設した。

「機動救急隊」は、救急需要の分析・予測結果に基づき、救急事案多発エリアに能動的に移動待機するほか、専門性の高い多数の傷病者発生事案や特殊災害にも出動している。

過去の救急発生事例などの予測は、新設する救急需要対策係が担っており、事故を含め、救急事案が多発する可能性が比較的高いエリアを予測し、一層効率的かつ迅速な運用につなげている。

イ 機動救急隊の構成と人材

10人の隊員で構成されており、3人1組となって、予め準備している救急車での出動に備えている。

4月から約半年間、機動救急隊の活躍は目覚ましく、トップレベルの出動件数を誇っており、福岡市消防局の隊員にとっても、今後のキャリアアップになるような機運醸成にもつながっていくように人材育成の一部としても本事業を進めていく。

（2）福岡都市圏における「NET119緊急通報システム」について

NET119は、聴覚や発話の障害などにより、音声での119番通報が困難な人等のためのシステムである。スマートフォン等で

こちらでも119番通報することが出来るようになっており、ライブ映像通報システムを使い、通報者が現場の状況を写真撮影して送信したり、指令センターから心臓マッサージなどの手技を動画で送信するなど、よりの確で迅速な人命救助につなげる取組を行っている。

(3) 福岡都市圏消防共同指令センターの運用について

2017年11月に運用を開始した福岡都市圏消防共同指令センターでは、福岡市都市圏の5消防本部にある119番指令センターを一本化し、福岡市都市圏内の119番通報をまとめて受付をしている。そのことにより、福岡都市圏の大規模災害に対して迅速な対応が可能になり、119番受信処理能力が向上し、人員の効率化にもつながっている。

2023年には筑紫野大宰府消防組合消防本部、2029年には糸島市消防本部が参加しより一層重厚な共同体制を取る予定である。

(4) 質疑概要

Q 今後、機動救急隊を増設していくことは検討しているのか。

A 増設を予定している。機動救急隊を担える人材育成を進めていく。

Q 機動救急隊創設にあたりロールモデルはあったのか。

A ロールモデルは特に無い。限られたリソースの中で救急行政を運営することを考えて創設を行った。

Q 機動救急隊の創設に伴う効果はどうか。

A 4月に発隊したばかりなので効果という効果を出すのは難しいが、活動件数自体は増えてきているので、今後とも活動を続けていきたいと考えている。

Q 機動救急出動件数を増やすのも大事だが、質も大事だと考えている。福岡市に限らず、全国の消防の救急体制の先陣を切ってもらいたいと思っている。

A その通りだと考えている。数とともに質も良く出来るようにしていく。



(福岡市消防局にて説明聴取及び質疑)



(福岡市消防局正面玄関にて)

視察概要

1 視察先

福岡県北九州市

2 視察月日

11月2日（水）

3 対応者

市民文化スポーツ局スポーツ部スポーツ施設担当課長 （挨拶）

市民文化スポーツ局スポーツ振興課施設整備担当 （説明）

株式会社日本施設協会北九州スタジアム副施設長 （説明・案内）

4 視察内容

（1）ミクニワールドスタジアム北九州について

ア スタジアムの概要

名称は北九州スタジアム、愛称がミクニワールドスタジアム北九州（ミクスタ）である。小倉駅から徒歩7分、市街地に立地する抜群の利便性を生かし、スタジアムや集積する他のにぎわい施設では、様々なイベントが開催されている。それぞれの施設やイベントで連携を図ることで、より多くの集客につなげている。

また、環境に優しい公共交通による来場を促進し、イベント前後の近隣商業施設、商店街、飲食店街、観光施設に回遊してもらうことで、さらなるにぎわいを生み出している。

さらに、海に近く関門海峡を臨む絶好のロケーションであり、客席から航行する船や対岸の足立山を見ることが出来るのも他にはない魅力となっている。収容人数は1万5300人となっている。

イ 運営方法と運営先について

指定管理者制度を導入しており、株式会社九電工、株式会社日本施設協会、美津濃株式会社の3社の出資による株式会社ウィンドシップ北九州が運営している。

また、スタジアムの名称についてはネーミングライツ制を導入している。地元企業の「株式会社ミクニ」と契約しており、契約内容は年間2千万円で、令和2年から令和5年までの3年間となっている。

(2) スタジアムの整備とギラヴァンツ北九州との関係性

ア スタジアムの整備経過

サッカークラブのギラヴァンツ北九州のホームスタジアムがあった北九州市本城陸上競技場は最寄り駅から遠くアクセスも悪く、J1の規格である1万5000席以上を満たしていなかったこともあり、北九州市サッカー協会、北九州市ラグビー協会等から新スタジアム建設の要望があった。

北九州市スポーツ振興審議会から、「本市の体育施設の在り方」の提言があり、Jリーグ昇格の可能性や企業・市民の支援の輪が広がっており、Jリーグ規格を満たした球技場は優先的に整備されるべきという答申も提出された。その後、スタジアム整備事業者の決定及び整備着手を経て、平成29年に整備が完了した。

イ 北九州市の基本計画とギラヴァンツ北九州との関係性

平成20年の北九州市の基本計画である「元気発信！北九州」プランの「Ⅲ 暮らしを彩る～快適な生活空間の創出と文化・スポーツの振興～」を受けて、市民の誇りの醸成にとって、プロスポーツチームは大きな存在であり、本市初のプロスポーツチーム「ギラヴァンツ北九州」が真に市民に愛されるチームとなるように、市民や地元企業と一体となって支援していくことを方向づけた。

平成28年9月の北九州市スポーツ振興計画の改定版の「Ⅲ プロスポーツ等の支援」では、北九州市をホームタウンとするギラヴァンツ北九州を、市民や地元企業などと一体となり、地域のシンボルとして育成・支援することにより、これらのチームの活躍を通じ、市民のまちへの愛着の醸成や青少年の健全育成、地域経済の活性化など総合的なまちづくりに生かせるような方向性も出された。

ウ スタジアム整備のポイント

海に近く関門海峡を臨む絶好のロケーションとターミナル駅である小倉駅から徒歩10分という抜群の利便性を生かした「海ちか・街なか」のスタジアムであることや、客席最前列とタッチラインとの距離が8m、高低差が65cmという臨場感あふれる「ダイナミックスタジアム」、太陽光発電、トイレの雨水利用、高率的LEDナイター照明など環境未来都市にふさわしい「エコスタジアム」を整備のポイントとした。

(3) 質疑概要

Q スタジアムの整備においてPFI方式を採用しているのか。また、資金はどのように確保したのか。

A PFIに近い方式を採用している。ただし、資金は市の方で調達したが、設計から管理まで指定管理者側で運営してもらっている。

Q スタジアムは好立地だが土地はどのように確保したのか。

A 元々は日本製鉄株式会社の土地だったが、高炉の縮小などもあり、駐車場などとして使われていたところを借地として使わせてもらっている。借地料は年間6千万円となっている。

Q 市民利用施設としてのスタジアムということだと思うが、市民がどれくらい利用できるのか、また利用状況はどうか。

A 10月の利用調整会議で調整を行っているが、土日は市の主催事業などで埋まってしまっている。一般の市民が使うのは平日が中心となっている。

Q 年間総利用者20万人超えという目標は現実的な数字なのか。

A 2019年度は約20万5千人の利用者数となった。その後新型コロナウイルス感染症の流行などで10万人を切ってしまうが今後さらなる集客に努めていきたい。

Q 事業者選定は公募型プロポーサル方式で選んだのか。また、何社くらい手を挙げたのか。

A 公募型プロポーサル方式で行ったが、1社しか手が挙がらなかった。市からの提案を満たすことが出来る事業者には限りがあったことが理由の一つだと考えている。



(スタジアム内にて説明聴取及び質疑)



(スタジアムフィールドにて)